

- ◆企画名 KU サポーターズ春季自主研修合宿  
日 程 平成 25 年 3 月 11 日 (月) ～3 月 13 日 (水)  
場 所 高槻キャンパス 高岳館  
参加者数 22 名 (ピア・サポータ 18 名、研修生 1 名、職員 2 名、卒業生 1 名)  
目 的

来年度の KU サポーターズの活動内容を決定し、年間スケジュールを作成した。また、今後のコミュニティ活動において必要とされる能力や課題等に対する研修を通して新規サポータを含むメンバー全員がスキルアップすることを目的とした。

#### 内 容

年間スケジュールを決定するためのミーティング (総計 300 分) と、スキルアップのためのワーク 6 つと鶴飼先生のワーク (総計 600 分) を行った。ミーティングの議題は、①春学期企画の内容の決定と秋学期企画の方向性の決定、②春企画の担当者決定、③春企画に当たってほっこり相談室を閉室するか否かについて、④ほっこり通信についての 4 つであった。ワークは、①ピア・サポート活動の内容とその効果についての講義、②身体を使ったワーク 1 (バドミントン)、③2012 年度の活動についてのテーマトーク、④ほっこり相談室での対応業務のトレーニング、⑤身体を使ったワークその 2 (ヨガ等の身体のリフレッシュ)、⑥自分らしさ発見ワークの 6 つであった。鶴飼先生ワークは、学生相談室の鶴飼柔美先生に委託し、90 分間の専門性の高い講義を行っていただいた。

#### 感 想

ミーティングに関しては、時間を多く設定したことで、案がたくさん出て深く話し合うことができた。また、プレゼン形式にしたことで、チームの特色が良く出て視野が広がったことや、後輩に話す場が与えられたこと等のメリットがあった。ワークに関しては、合宿後に持ち帰って今後の KU サポーターズの活動に活かしていけるものにする、という当初の目的が達成された。合宿運営に関しては、合宿スケジュールを進行する上で、事前に各企画実施のための準備や運営班の動きを打ち合わせたことで、スムーズに進行できた。また、運営班の人数 (7 名) が意思疎通しやすく集まりやすかったため、スムーズに仕事が進んだ。

#### 改善点

ミーティングとワーク④を中心として、時間配分が上手くいかなかった企画が複数あった。今後は、タイムキーパーの担当者を設けるか、各企画の進行者がタイムキーパーを兼任する必要がある。また、企画担当者の事前準備が不十分な企画が多かった。具体的には、ミーティングの進行者間で考え方のズレを事前に修正していなかったこと、ワーク②の企画後のフィードバックの重要性を確認していなかったこと、ワーク⑥の担当者の進行方法や参加者に対する事前の説明が曖昧であったこと、鶴飼先生ワークの担当者に鶴飼先生は講師であるという意識が足りなかったこと等が上げられる。今後は、合宿前にセルフリハーサルを念入りに行う必要がある。合宿運営については、合宿運営班での全体統括者を定めるべきであった。また、途中抜けや途中参加のメンバーが多く、参加者の出入りが複雑だったこともあり、集金や書類作成に手間取った。